

かわさき

Art

ニュース

アートでもっとまちが好きになる、コミュニケーションマガジン

2025

6・7 月号

vol.348

02 特集

親子でアートに夢中！
夏休み鑑賞&体験ガイド！



CONTENTS [目次]

- 04 | 企画担当者がプレゼン！ 今号の深掘りアート
- 06 | Pick up EVENT
- 08 | Review イベントレポートとみんなの声ー

- 09 | カワサキ セレンディピティ
- 10 | 市内ギャラリー情報

親子でアートに夢中!

夏休み鑑賞&体験ガイド!



今年の夏休みには、親子と一緒に五感を刺激するアート体験はいかがですか? 夏休みの思い出作りにぴったりのイベントを厳選してご紹介。アートの世界へ飛び込みましょう!

7/27
[日]

8/2
[土]

8/3
[日]

夏休みの自由研究にぴったり! 伝統芸能体験

第35回夏休み能楽体験・鑑賞教室

700年の時を超える、能の世界へのタイムトリップ! 室町時代から続く日本独自の伝統芸能「能」。現代まで途絶えることなく、受け継がれてきた理由はどこにあるのでしょうか。舞台上に立ち、声を出して舞ってみる。そして、能で使われる楽器に触れ、本物の舞台を観れば、きっと発見があるはず。さあ、この夏は能と出会い、700年分の日本を体感しましょう!



笛の体験。そのほか、小鼓、大鼓、太鼓にも挑戦



謡の体験。能の鑑賞後には白熱の質問コーナーも!

講師よりメッセージ

能の多くの脚本は室町時代から戦国時代に書かれていますが、自然や人との関わり、愛など現代の私たちにも通じる根源的なテーマがほとんどです。そして、シンプルな様式で物語を生み出す能は、鑑賞する方の想像で肉付けをしていく参加型の芸能でもあります。体験を経て鑑賞をすると、その世界にぐっと近づきますよ。ぜひ自分だけの楽しみ方を見つけてください。



鵜澤光さん(観世流シテ方楽師 鎮仙会)
令和2年重要無形文化財総合指定。大学などでの講演、海外公演、海外でのワークショップ、一般の能楽愛好者へのレッスンも行っている。

そのほか、川崎市民文化大使の鵜澤久さんをはじめ、第一線で活躍する能楽師の先生方に直接接しながら実技を体験できます。

体験の流れ ※3日間で実施するプログラムです

- | | | |
|----------|-----|--|
| 1日目 7/27 | お話し | 能とは何か、その面白さについてレクチャー |
| 2日目 8/2 | 体験 | 仕舞(しまい)、謡(うたい)、笛、小鼓(こづみ)、大鼓(おおづみ)、太鼓(たいこ)の実技 |
| 3日目 8/3 | 鑑賞 | お話を踏まえたうえで、能「葵上」を鑑賞 |

すべての実技を体験できます!

体験談

- ・子どものお面好きが高じて能楽に興味を持ちました。体験に参加したことで、能の楽しみ方が少しわかりました。
- ・鵜澤先生の能楽のお話、体験を繰り返していると、もっと気になること、理解できることが増えてくる。だから、何回も体験したくなる。(リピーターの方より)

夏休みの体験をきっかけに
本格的なお稽古が続いています!

お稽古を重ねるうちに
長い謡もうたえるようになってきました。
仕舞で足を鳴らすのは難しいけど
楽しいよ!

川崎子ども能楽教室 安藤慎さん(小4)、伶さん(小3)

- | | |
|------|---|
| 会場 | 川崎能楽堂 |
| 日程 | 7月27日(日)、8月2日(土)、8月3日(日) |
| 対象 | 年齢制限なし
どなたでもご参加いただけます。大人のみのご参加も大歓迎! |
| 定員 | 90名(申込多数の場合は抽選) |
| 受講料 | 3,500円(鑑賞料・教材費を含む) |
| 申込締切 | 7月10日(木)必着
定員に満たない場合は
締め切り後も申込みを受け付けます。 |
| 申込方法 | 申込フォーム、FAXのいずれか |
| お問合せ | 川崎市民文化財団 TEL:044-272-7366 |



詳細は
コチラ

2

かわさき発! 市民が創る情熱のステージ

第41回かわさき演劇まつり

『チト〜愛と平和とみどりのゆびと〜』

7/26
[土]

7/27
[日]

公募で集まった市民が結集して創り上げる「かわさき演劇まつり」。1972年の発足以来、40もの心温まる舞台を届けてきました。今回上演するのは、モーリス・ドリュオン原作の童話「みどりのゆび」。小学生から70代まで、約60名の市民が生み出すエネルギーと本格的な舞台は必見です。

■あらすじ

町の大きな工場を経営する父と、優しい母のもとで不自由なく育ったチト。学校には向かず通うのをやめてしまいましたが、家で園芸に没頭するうちに、自分の指に植物を繁らせる不思議な力があることに気づきます。ある時、父の工場が作っている製品が戦争に使う兵器であることを知って……。



第40回かわさき演劇まつり「モモ」(撮影:長坂クニヒロ)

演出家よりメッセージ

演劇まつりの稽古場には、普段は素通りしがちな「観る」ことを通じて生まれる表現や感動がたくさんあります。様々な方が集まって一緒に秘密基地をついているような感覚です。客席で観劇する際も、描かれている人物の隣にいるような、自分もその世界で生きていると感じられるような瞬間がきっとあります。この刹那をぜひ劇場でご体感ください。

脚本・演出 大西弘記さん
(演出家・劇作家 TOKYOハンバーグ主宰)

- | | |
|------|--|
| 会場 | 多摩市民館 大ホール |
| 日時 | 7月26日(土)・7月27日(日)
各日11:00/15:30開演 |
| 料金 | エリア指定席3,500円、
一般(自由席)3,000円、
子ども(高校生以下)・障がい者1,000円、未就学児 無料
※当日券は500円増 |
| お問合せ | かわさき演劇まつり実行委員会(京浜協同劇団内)
TEL:044-511-4951 |



詳細は
コチラ

言葉の壁を超え、世界とつながる夏を!

7/19
[土]

親子で楽しむ夏時間2025

『GROW〜大地と風といっしょに〜』

今年は、デンマークからやってくるタイニーダンサーが、植物の成長からヒントを得て創作したダンスパフォーマンスを披露! 関東では川崎市アートセンターだけの開催です。「私たちをつなぐものはなんだろう?」。自分、他者、そして自然。私たちのルーツはどこにあり、どう成長するのか? 似ているようでまったく違う、ふたりのパフォーマンスが、音楽とダンスで成長の物語を紡ぎます。セリフに頼らない“ノンバーバル”作品だから、世代も国境も超えて楽しめます!

- | | |
|------|---|
| 会場 | 川崎市アートセンター小劇場 |
| 日時 | 7月19日(土) 11:00/14:00開演 |
| 上映時間 | 約35分 |
| 対象年齢 | 1〜5歳 |
| 料金 | おとな・子どもペア3,500円ほか(全席自由・税込) |
| お問合せ | しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)
TEL:044-959-2255 |



作品紹介動画



詳細はこちら



©Maho harada

参加者募集

夏休みワークショップ フェスティバル2025

- | | |
|------|------------|
| 期間 | 7月下旬〜8月上旬 |
| 会場 | 川崎市アートセンター |
| 申込締切 | 7月7日(月) 必着 |



詳細はコチラ

毎年人気の川崎市アートセンターの夏のワークショップを今年も開催! ことばあそび体験や映画のしくみがわかるキノラづくり、映画音楽、映画弁士など、6つの演劇・映画のプログラム。アートセンターならではの体験を通して、いろんな発見をしよう。詳細や応募方法、昨年の様子などはホームページで確認を。

企画担当者がプレゼン！

今号の深掘りアート

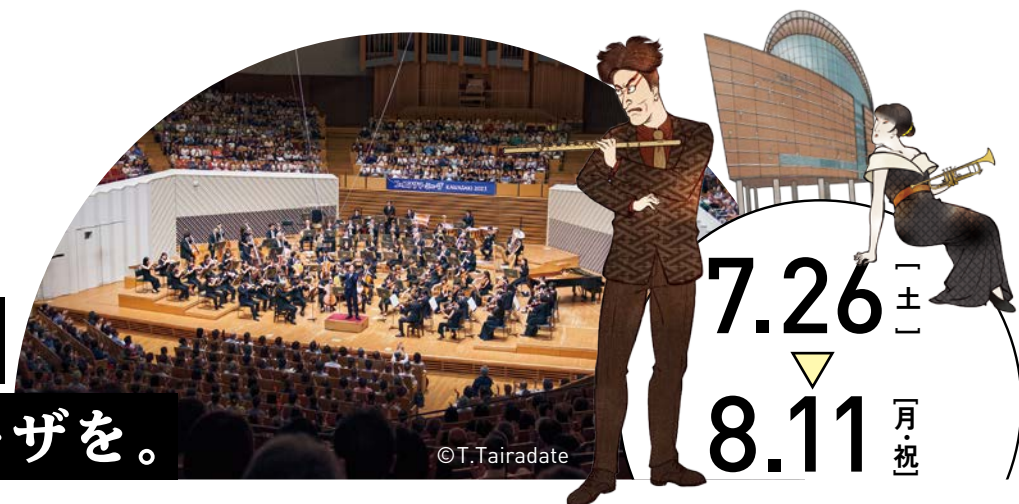
4つのおすすめ情報を厳選し、その魅力を深掘り！
アートをもっと深く、もっと楽しく味わうための
ヒントがきっと見つかります！



夏にや祭りを。

祭りにやミュージザを。

フェスタ サマーミュージザ KAWASAKI 2025



すっかり夏のクラシック音楽祭として定着したサマーミュージザが、装いを一新して今年も開催決定！首都圏で活躍する11団体のプロ・オーケストラに加え、2025年は九州交響楽団が満を持して登場。バレエやジャズ、子どもも楽しめる公演など、充実のラインアップが出そろいました。

欧州でクラシック音楽が発展した18世紀～19世紀前半は、日本なら江戸～大正の時代でした。ウィーンで楽聖ベートーヴェンが活躍していたころ、日本ではNHK大河ドラマでも話題の歌川広重が生まれていたのです。モネやゴッホが浮世絵に触発されたように、西洋のクラシック音楽

担当者より《企画のツボ》

オーケストラにピアノ、オルガン、ジャズ公演など今年も多種多様な音楽ビタミンをご用意！コンサートの後は、近隣飲食店でお得に食事やお茶を楽しむのもおすすめです。お疲れの方もそうでない方も元気をチャージしにぜひご来場ください！



が日本で楽しみの輪を広げ、時代と国境がクロスオーバーする…サマーミュージザはそんな「真夏のクラシック音楽祭」と言えるでしょう。今年からは浮世絵風の楽器奏者たちが、涼やかに皆様を歓迎いたします。

7月26日から約3週間にわたり、日本を代表するプロ・オーケストラが日替わりで競演し、それぞれの個性を聴き比べられるのもサマーミュージザならではの楽しみ。今年は世界で活躍する新世代の指揮者やソリストが続々登場するほか、九州交響楽団が初登場！「博多ラプソディ」など、ご当地ならではの作品を携えた熱いオーケストラが川崎にやってきます！

オーケストラ以外にも、国内最大級のパイプオルガンによる公演、4歳からのお子様と一緒に楽しめる、ジャズ、バレエとわくわくする演目が出そろいました。また、コンサートをより深く楽しむためのプレトークやプレコンサート、近隣の飲食店と連携したサービス特典など、演奏会以外のお楽しみも充実して皆様をお待ちしております。さらに新たなキービジュアルにちなんで、期間中に浴衣でご来場の方には特製ステッカーを進呈！この夏もぜひサマーミュージザでお楽しみください。

「フェスタ サマーミュージザ KAWASAKI 2025」開催概要

【会場】 ミューザ川崎シンフォニーホール
昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ
【お問合せ】 ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター
TEL:044-520-0200(10:00～18:00)

詳しくはこちら



必見！“期間限定”で販売中！ しんゆりジャズスクエア& しんゆり寄席年間パスポート2025

アートをもっと身近に！「しんゆり」をとことん楽しむ年間パスポート

川崎市アートセンターが誇る2大人気企画、「しんゆりジャズスクエア」と「しんゆり寄席」。このふたつを、もっと気軽に、もっとお得に楽しんでいただきたい！そんな思いから、今年もそれぞれの年間パスポートをご用意しました。年間各5回開催するジャズ、落語、講談、色物…など、多彩なプログラムを心ゆくまで堪能いただけます。年間パスポートを手に入れて、「しんゆり」ととことん遊び尽くしませんか？

販売期間：各6月公演前まで（公演詳細はP6・7）

【料金】 しんゆりジャズスクエア13,500円（税込）／しんゆり寄席9,000円（税込）

【お問合せ】 しんゆりチケットセンター（川崎市アートセンター内）
TEL:044-959-2255（9:00～19:30、毎月の施設点検日除く）



しんゆりジャズスクエア
年間パスポート



しんゆり寄席
年間パスポート

あなたの「色」が、誰かの心を照らす。 Colors かわさき 2025展作品募集

描くことへのときめきを、分かち合おう！

川崎市文化財団が推進する「パラアート推進事業」の一環として、今年も「Colors かわさき展」が開催されます！今年で9年目を迎えるこの展覧会は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、ひとつひとつの作品の魅力をダイレクトに感じていただくことを目指しています。昨年は、142名の公募アーティストと特別支援学校の子どもの作品を展示。10日間で1,470名の来場者を魅了しました。今年も、出展を希望

募集期間

6月16日（月）9:00～7月9日（水）17:00

募集要項など詳細はウェブサイト「ばらあーとねっと」をご覧ください、インターネット申込みフォームまたはFAXでご応募ください。
（募集要項は6月上旬公開）



十人十色の個性が輝くアート展 第32回 かわさき市民アンデパンダン展

市民の力作、今年も集結！

4～5月に公募し、絵画、写真、書道の3部門で市民が創作した作品を、入選・入賞など優劣をつけずにすべて展示。最終日にはプロの講師による講評会があり、一般の方の参加も可能。来場者から「他の展示会と違う楽しさがあった」「川崎の面白さをまた一つ知れて良かった」などの声が多数寄せられる、新たな発見と出会いに満ちたイベントです。

「第32回 かわさき市民アンデパンダン展」開催概要

【日程】 6月24日（火）～7月6日（日）10:00～18:00
※6月30日（月）休館。入場終了17:30、最終日は15:00まで。

【会場】 アートガーデンかわさき

【料金】 観覧無料

【お問合せ】 川崎市文化財団 事業課 TEL:044-272-7366

詳しくはこちら



しんゆりジャズスクエア



しんゆり寄席

特典

1 年間通した特等席！

購入時に好きなお席をご指定いただき、そのお席で年間を通してご鑑賞いただけます。※1

2 料金がお得！

一般チケットで全て鑑賞した場合と比較し、しんゆりジャズスクエアは5,000円、しんゆり寄席は3,000円もリーズナブルに！

3 チケットの追加購入もお求めやすく！

お連れのお客様1名まで、年間パスポートの割引額と「同額」となる料金で販売いたします。※2

4 ご家族、ご友人もご利用可能！

年間パスポートは購入者ご本人だけでなく、ご家族、ご友人もご利用いただけます。

※1 販売済みのお席はお選びできません。6月公演が完売した場合、年間パスポートの販売も終了します。

※2 チケットの販売状況によっては連席でご用意出来ない場合もございます。



昨年の会場の様子



絵画講師による出張制作指導の様子

される障がいがある市民の方を募集中。絵画活動を始めたばかりの施設・団体の方も、ご安心ください。ご希望に応じて、絵画講師による出張制作指導も実施します。「Colors かわさき展」は、多様な才能が響き合う、特別な場所。今年も色とりどりの作品に出会えることを楽しみに、皆様のご応募を心よりお待ちしております。

「Colors かわさき2025展」開催概要

【日程】 11月13日（木）～24日（月・祝）※17日休館

【会場】 ミューザ川崎シンフォニーホール4階企画展示室

【お問合せ】 川崎市文化財団 事業課 TEL:044-272-7366



講評会の様子

愛着を込めて“アンパン”と呼ぶスタッフも

担当者より

《企画のツボ》

アンデパンダンは「無審査の」という意味。川崎では50年以上も続く、美術を愛する市民の交流の場です。200点以上の多彩で生き生きとした表現をお楽しみください！



Pick Up! EVENT

落語

音楽

浮世絵

伝統芸能

映画

📍 会場 💲 料金 📞 チケット等問合せ先 👤 子ども向け

※4月22日現在の情報です。イベントの詳細やそのほかのイベント情報については、下記各会場のウェブサイトをご覧ください。各会場の所在地は裏ページでご案内しています。

毎月第3火曜日のお楽しみ! ～ラゾーナ寄席～

落語

📍 ラゾーナ川崎プラザソル

ラゾーナ川崎プラザソルにて、人気落語家たちが集う「ラゾーナ寄席」が開催されます。

開催日 第152回 6月17日(火) 18:30開演

【出演】林家正雀・初音家左橋・古今亭菊正・林家十八

第153回 7月15日(火) 18:30開演

【出演】三遊亭遊之介・一玄亭米多朗・桂竹千代・笑福亭ちづ光

💲 一般2,000円、25歳以下1,000円

📞 ラゾーナ川崎プラザソル
044-874-8501



林家正雀



三遊亭遊之介

注目の催し物が続々開催！音楽、映画、伝統芸能…多彩なジャンルから、とっておきのピックアップ情報を厳選しました。日常を豊かに彩るイベントから、特別な体験ができる公演まで、好奇心を刺激する情報が満載です。さあ、お近くの会場に出かけて、あなたのお気に入りを見つけましょう！

6.7土～7.6日 11:00～18:30
※月曜休館 (入館は18:15まで)

浮世絵

📍 川崎浮世絵ギャラリー

浮世絵スター誕生

—歌麿に葛屋重三郎、英泉・国貞まで—《後期》

後期展示では歌麿や初代豊国など浮世絵黄金期の作品とともに、黄金期後に頭角を現した次代の新星・英泉、国貞の作品を展示。今話題の版元・葛屋重三郎にも注目し、江戸で誕生した様々なスターを紹介します。

💲 500円(高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料)



📞 川崎浮世絵ギャラリー
044-280-9511

6.28土 14:00 開演

落語

📍 川崎市アートセンター小劇場

第116回 しんゆり寄席

世話人の初音家左橋と一玄亭米多朗とともにゲストで春風亭柳橋が出演。柳橋は古典落語の傑作「妾馬」を高座にかけ。無教養だがさっぱりした性格の町人・八五郎と器量良しの妹・お鶴。ある日お鶴が大名の目にとまり…。

💲 一般2,400円、U30割(30歳以下)1,600円
ほか(全席指定・税込)



春風亭柳橋

📞 しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)
044-959-2255

7.1火 14:00 開演

音楽

📍 ミューザ川崎シンフォニーホール

ミューザの日2025

ウェルカム・コンサート オーケストラ入門!

7月1日はミューザのお誕生日! 開館記念日を祝い、家族みんなで楽しむ名曲コンサートを開催!

【出演】指揮:山下一史 オルガン:大木麻理 ヴァイオリン:小林 悠 管弦楽:東京交響楽団

【曲目】アンダーソン:トランペット吹きの休日 J.S.バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 他

💲 おとな2,000円、シニア(65歳以上)1,800円、子ども(4歳～中学3年生)1,000円、家族ペア割2,500円

📞 ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター
044-520-0200



6.15日 13:30 開演

落語

📍 東海道かわさき宿交流館 4階集会室

第16回 アマチュア名人会

個性豊かな社会人落語家たちが一堂に集結! 普段は別々の顔を持つ彼らが、それぞれの得意の演目で笑いを届けます。アマチュアとは思えない熱演に乞うご期待!

【出演】太尾亭理久・喜楽亭笑吉 他

《申込締切》5月30日(金)必着

往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数(はがき1枚につき、2名まで申込み可)・「アマチュア名人会希望」と明記

送付先:〒210-0001 川崎区本町1-8-4

東海道かわさき宿交流館

💲 無料

📞 東海道かわさき宿交流館
044-280-7321



太尾亭理久



喜楽亭笑吉

6.27金 19:00 開演

音楽

📍 川崎市アートセンター小劇場

しんゆりジャズスクエアvol.69

数々のヒット曲を生み出したフランク・シナトラ特集。20世紀を代表する彼の往年の名曲「My Way」「Fly Me To The Moon」などをお届けします。

【出演】ボーカル:宮坂俊行 ピアノ:小沢咲希 ベース:佐瀬正 ドラム&ボーカル:利光玲奈 ギター:田辺充邦

💲 一般3,700円
U30割(30歳以下)2,500円 他(全席指定・税込)

📞 しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)
044-959-2255



宮坂俊行

7.16水 14:00 開演

伝統芸能

📍 東海道かわさき宿交流館 4階集会室

第30回 講談de交流

張り扇で釈台を叩き、調子よく語る日本の伝統芸能「講談」。独特のリズムに乗せて繰り広げられる物語を、心行くまでお楽しみください。

【出演】真打 田辺鶴遊、前座 神田ようかん

《申込締切》7月2日(水)必着
往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数(はがき1枚につき、2名まで申込み可)・「講談希望」と明記

送付先:〒210-0001 川崎区本町1-8-4
東海道かわさき宿交流館

💲 無料

📞 東海道かわさき宿交流館
044-280-7321



田辺鶴遊

8.3日 11:00 開演

音楽

📍 ミューザ川崎シンフォニーホール

こどもフェスタ2025

イツツ・ア・ピアノワールド

4歳から入場OKなサマーミューザの大人気企画! お子様(4歳～中学生)はステージに上がってピアノを囲み、間近で小川典子さんの演奏を聴くことができます。

【曲目】ラヴェル:悲しい鳥たち
エルガー:『威風堂々』第1番より 他

💲 大人2,000円 子ども(4歳～中学生)500円

📞 ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター
044-520-0200



小川典子

7.12土～8.11月・祝 11:00～18:30
※月曜休館、7月21日(月・祝)開館、22日(火)振替休館 (入館は18:15まで)

浮世絵

📍 川崎浮世絵ギャラリー

浮世絵で旅する海と山

江戸時代の人々の楽しみのひとつは、ちょっとした小旅行。江戸から気軽に行ける海や山といえば、江の島や三浦半島、箱根の湯治、大山参りが人気でした。本展では浮世絵を通して、江戸っ子たちのお気に入りのお出かけスポットを紹介します。



💲 500円(高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料)

📞 川崎浮世絵ギャラリー
044-280-9511

新百合ヶ丘の映画館。

映画

📍 川崎市アートセンター 映像館



© 2024 - TRÉSOR FILMS - GAUMONT - LAURENT DASSAULT ROND-POINT - ARTÉMIS PRODUCTIONS

上映期間
6月14日(土)～27日(金)

作品名
『ロザリー』(2023年/フランス・ベルギー/1時間55分)
多毛症に悩むロザリーは周囲の目を気にして日々生え続ける毛と格闘する毎日を送っていた。そんな借金を負ったカフェのオーナーと結婚が決まるが…。保守的な価値観に悩まされながらも強く生きる愛と自立の物語。

毎月、選りすぐりの作品を上映。
作品情報は川崎市アートセンター ウェブサイトにて

💲 一般2,000円、シニア・シネマ会員1,300円、学生・障がい者・付添(1人まで)1,000円、高校生以下800円ほか(全席指定・税込)

📞 川崎市アートセンター
044-955-0107

各会場ウェブサイト

ラゾーナ寄席
(ラゾーナ川崎プラザソル)



川崎浮世絵ギャラリー



東海道かわさき宿交流館



川崎市アートセンター



ミューザ川崎
シンフォニーホール



こども狂言教室

稽古：2024年12月22日～2025年3月22日 新百合ヶ丘トウェンティワンホール 川崎能楽堂
発表会：3月23日 川崎能楽堂

伝統の“笑い”を未来へつなぐ 子ども狂言師たちの熱演！

今年で16回目を迎えた「こども狂言教室」は、市内に在住または在学の小学3年生から中学2年生までの12名で開催されました。日本の伝統芸能である狂言は、人間の欲心や見栄などから生まれる失敗を面白おかしく演じた作品が多く、誰もが共感でき、子どもにも理解しやすい内容です。しかし、いざ練習が始まると、今まで経験したことがない歩き方や動き、初めて使う言葉や独特の節回しに大苦戦。それでも、講師の熱心な指導のおかげで、練習を重ねるごとに目覚ましい上達を見せました。本番では、初めての能舞台にも臆することなく、子どもたちは素晴らしい発声や堂々とした立ち回りで、立派に演じ切りました。観客の皆さんも思わず笑いに誘われていました。教室を終えた子どもたちからは、たくさんの喜びの声が寄せられ、大変満足してくれたようです。「こども狂言教室」は、子どもたちが狂言を体験できる貴重な機会です。次回は10月頃に参加募集を予定しています。



参加者の声

- 楽しい！自分のためになった。
- じっくり練習させてくれるのでやりやすかった。
- 古文単語が覚えられるのがよかった。
- 日本の伝統文化に触れられてとても良い経験になりました。
- 狂言を始めたことで私の中の世界が広がった。
- まだ見たことのないお話も見てみたい。

春休み シネマわくわくワークショップ

開催日：3月26日～31日
場所：川崎市アートセンター（一部、川崎市立日本民家園）



子どもたちの創造力を刺激する 映像の不思議に迫る ワークショップ

アートセンターでは開館以来、春休みと夏休みを利用した映像のワークショップが好評です。今春は、延べ120名の小学生が、アニメーション制作を学ぶ3つの活動（「むかしのアニメーション体験vol.11」「アニメーション絵本vol.7」「キッテハッテおどろき盤vol.2」と）、映画のはじまりに挑戦する4日間の映画制作ワークショップ「リュミエール映画＋（プラス）vol.13」に参加しました。いずれも映像の専門家が指導する、映像に親しむための入門プログラム。子どもたちは少しずつ変化させた絵を何枚も描いてアニメーションを生み出したり、はじめて出会った仲間とともに映画制作に挑戦したりと、積極的に活動に取り組みました。日頃から映像に親しんでいる子どもたちも、あらためてその原理を学ぶことで、様々な発見をしたようです。積極的に講師に質問する姿も多く見られました。参加者からは「アニメーションのために絵を何枚も描くのが大変だったけど、楽しかった」「ほかのお友達の作品も見られてよかった」という声や、また保護者からは「人前で話すことが苦手な子だが、講師が上手に進めてくれて楽しんだようだ」「充実した内容だったので、また参加させたい」といった満足の声が届いています。

カワサキ セレンディピティ

アートとの、素敵なのでいがある場所へ

vol. 01

KAWASAKI Serendipity

偶然に訪れる、予期せぬ幸運——セレンディピティ。
「もしかしたら何かがあるかもしれない」と感じさせる、
そんな予感に満ちた入口をご案内します。

小田急線「読売ランド前」駅から徒歩15分。坂を上った先にある閑静な住宅街に、溶け込むかのように「AWAZU HOUSE ART CENTER 栗津潔邸」は佇みます。ここは、世界的な建築家・原広司氏が30代半ばの頃に手掛けた住宅。彼が追求した住宅の形式である〈反射性住居〉の原型となった建物です。その家主は、戦後日本のグラフィックデザインを牽引した栗津潔氏。住居として日常を過ごし、またアトリエとして建築家や映画監督、音楽家、詩人など時代を代表する表現者たちとジャンルの垣根なく交流。感性を共鳴し合いながら、数多の作品を生み出した場所です。築53年となり主を亡くしたこの建物に、生命力に満ちていた当時の息吹を再び送り込もうと、潔氏のご子息である栗津ケンさん（アート・プロデューサー&ディレクター）が一念発起。あらゆる人々に開いた空間として、2022年に「再誕生」させました。訪れる人々に「発見」と「出会い」を提供したいという想いで、再誕生させて以来、潔氏の作品展はもちろん、川崎を題材とした作品を描く若きアーティストの展示会などを開催。こういった芸術に触れた時にふと湧き上がる「なんだ、これは？」という心の動きや気づきを大切にしてほしいとケンさん。「芸術そのものに世の中を変える力はありませんが、人の心や感覚にパラダイムシフトを起こすことはできます。そういった内なる変化にであった人々が、きっと世を動かす力になる。その変化が起こるきっかけの場にしていきたいですね」と語ります。

また、この建物の魅力は「家に入ると外に出る」と感じるほど、自然と一体化していることです。調光など意図的に環境を制御しないことで、展示されたアート作品も雨の日、晴れの日、昼、夜、そして季節の移ろいと共に、その表情を豊かに変化させます。そんな建物も年月と共に老朽化が進み、どう未来に残していくかが眼前の課題でもあります。今後クラウドファンディングも含めて広く寄付を募るとともに、建物の内部であらゆる芸術の境界を取り払い、実践の場にしていきたいというケンさん。そんな環境での体験はきっと、訪れる人の感性を目覚めさせ、新たな視点を与えてくれるはず。そうそう。実は、当財団の丸が3つ連なるロゴマークや「川崎歴史ガイドパネル」のシンボルマークをデザインしたのは潔氏。かつてこの場で、川崎のことを思いながら制作されていたのかと思うと感慨深いですね。

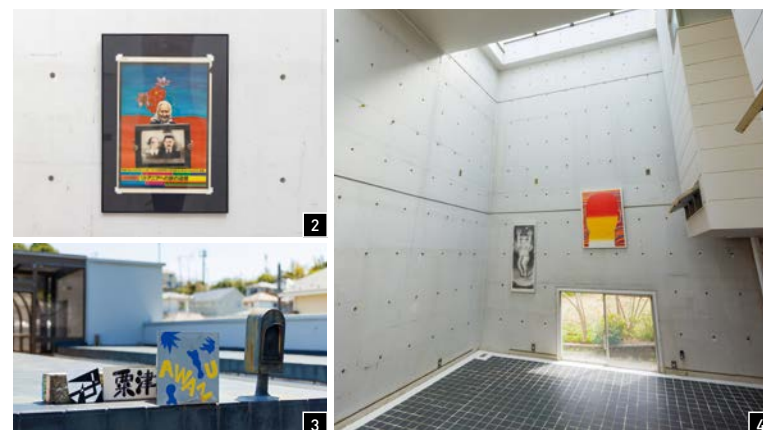
あらゆる境界をなくす邸宅に、新たな鼓動

今回のであいは、

AWAZU HOUSE ART CENTER 栗津潔邸

川崎市多摩区南生田1-5-24

<https://awazuhouse.setenv.net/> 展示情報などはウェブサイトにてご確認ください



1「住居に都市を埋蔵する」と言われる原氏の住宅建築は、左右対称な構造が特徴。2栗津潔氏が手掛けた映画ポスター。ジョナス・メカス監督「リトアニアへの旅の追憶」が日本公開された時のもの（1973年）。3玄関にさりげなく置かれた表札もアート！41階アトリエ空間。展示の関連企画で、川崎在住のフォークシンガーとヒップホップユニットによるジャンルレスなパフォーマンスも行われた（2025年3月）。5斜面を活用した住宅ということがよくわかる。庭には潔氏作の彫像も。ゆくゆくは、庭を開放し、近隣の人の憩いの場にしたいと計画。6栗津潔氏がデザインした当財団のロゴマークと、市内各所に設置されている川崎歴史ガイドパネルのシンボルマーク。

川崎市文化財団 管理運営施設

※年末年始、施設点検日、
展示替え期間等で休館に
なる場合がございます。



Kawasaki Station Area

川崎駅エリア

3 アートガーデンかわさき

川崎市川崎区駅前本町 12-1 タワーリパーク 3F (JR 川崎駅北口直結)
TEL.044-200-1415
受付時間 / 10:00 ~ 17:00 (月曜休館)

4 川崎浮世絵ギャラリー〜斎藤文夫コレクション〜

川崎市川崎区駅前本町 12-1 タワーリパーク 3F (JR 川崎駅北口直結)
TEL.044-280-9511
開館時間 / 11:00 ~ 18:30 (月曜休館)

5 ミューザ川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町 1310
TEL.044-520-0100
受付時間 / 9:00 ~ 19:00

6 川崎能楽堂

川崎市川崎区日進町 1-37
TEL.044-222-7995
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (水曜休館)

7 東海道かわさき宿交流館

川崎市川崎区本町 1-8-4
TEL.044-280-7321
開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (月曜休館)

8 ラゾーナ川崎プラザソル

川崎市幸区堀川町 72-1 ラゾーナ川崎プラザ 5F
TEL.044-874-8501
受付時間 / 10:00 ~ 20:00

文化財団
施設一覧



Shinyurigaoka Station Area

新百合ヶ丘駅エリア

1 川崎市アートセンター

川崎市麻生区万福寺 6-7-1
TEL.044-955-0107
受付時間 / 9:00 ~ 19:30

2 新百合トウェンティワンホール

川崎市麻生区万福寺 1-2-2 新百合21ビルB2
TEL.044-952-5000
受付時間 / 9:00 ~ 17:00



読者アンケート

「かわさきアートニュース」は 2025 年 6・7 月号から内容をリニューアルし、
年 6 回の発行となります。下記本誌についてのアンケートにご協力ください。

質問項目

- ①本誌の入手場所 ②今号の内容について(1~5段階評価で、その理由も) ③本誌で良かった内容(例:特集記事) ④今後読んでみたい内容(例:ホール近くの飲食店情報) ⑤おすすめしたい川崎ゆかりの「場所」「ひと」「こと」などがあれば(自由記述) ⑥住所・氏名(プレゼント抽選希望の方のみ)

回答方法

ウェブアンケートフォームもしくは FAX (044-544-9647) で
(公財) 川崎市文化財団 アートニュース担当 まで【回答締切: 7 月 31 日必着】
※個人情報は発送以外の目的で使用しません。
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

リニューアル記念!

抽選で
3 名様に

「音楽のまち・かわさき」
クリアファイルが当たる♪



ウェブアンケート
フォームはこちら



公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー 5F

TEL 044-272-7366 FAX 044-544-9647 Web <https://www.kbz.or.jp/>

公式X(旧Twitter) @kbunkazaidan 公式note kbz_artnews

2025(令和7)年6月発行



公式ウェブサイト

川崎市文化財団

検索



川崎のパラアート情報

ばらあーとねっと

検索



かわさき SDG 8
パートナー

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

※かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。
※本誌に掲載している催し物は内容が変更となる場合がございます。最新の情報は、各公演のお問合せ先へご確認ください。
※本文に一部 UD フォント (ユニバーサルデザインフォント) を使用しています。

●発行 / 公益財団法人 川崎市文化財団
●制作・印刷製本 / (株) ホクシン TEL : 044-433-3251
●編集協力 / (有) ピース TEL : 03-6459-2563